

§ 協会の動き（平成25年7月分）

☆ 平成25年度 安全大会を開催

スローガン『高めよう 一人ひとりの安全意識 みんなの力でゼロ災害』

毎年、協会員の安全の意識と知識を高めるために行っております安全大会を7月3日に埼玉建産連研修センターにおいて開催いたしました。

始めに島村副会長が挨拶に立ち、日頃より安全意識の高揚と安全活動定着を意識しながら作業に取り掛からなければならない。本日の大会の参加者は会社に戻り中心となって、全社を挙げて安全を再認識し、災害防止に取り組むきっかけとしてほしいと呼び掛けた。

安全訓示では、埼玉労働局の健康安全課長よりご提供いただいた資料に基づき県下労働災害発生状況等について説明いたしました。引き続き、『労働災害の現状～災害の原因分析と安全対策～』

（講師：富士火災海上保険株式会社 シニアリスクアナリスト 斎藤孝行氏）をテーマに安全講和を行いました。

最後に本年のスローガンを唱和して、安全の重要性を再確認いたしました。



☆ 平成25年度第1回技術講習会 『建築電気設備の耐震設計・施工マニュアル』

今年度第1回目の技術講習会は、7月11日に埼玉建産連研修センター大ホールにて、「建築電気設備の耐震設計・施工マニュアルの解説」をテーマに開催いたしました。

開会に先立ち荻野会長より「我々の企業が存続するためには優れた技術と経営手腕が必要と言われています。両輪の一つである技術向上のために今日は勉強してください。」と挨拶がありました。

講習会については、（一社）日本電設工業協会のご協力をいただき、AS技術士事務所 角耀 氏を講師に迎え、講師作成のレジメを基に、地震のメカニズムや用語についてから、耐震設計・施工について、阪神・淡路や新潟中越等の大地震による電気設備機器の被害例を挙げながら、分かりやすく解説していただきました。

当協会員だけでなく、県関係・市町村の電気技術系職員や関係団体等から多くの方々にご参加いただき、このことからも皆様の感心の高いテーマであったことがうかがえました。

受講後に受講者を対象に行ったアンケートでは、耐震計算の根拠、耐震に対する対策としての具体的な施工例、アンカーボルトの知識などがとても勉強になったとご意見をいただきました。

当協会では、このような形で、今後とも皆様のお役に立つような講習会を積極的に企画していきたいと思っております。

